

千葉県立博物館の事業に係る自己評価票(令和3年度事業)

達成度(数値達成度のめやす)		自己評価	総合評価
達成	目標値 \geq 100%	4	A
ほぼ達成	目標値 \geq 80%	3	B
やや不十分	目標値 \geq 50%	2	C
不十分	目標値 $<$ 50%	1	D

満足度欄の達成度		自己評価
達成	達成値 \geq 75%	4
ほぼ達成	達成値 \geq 65%	3
やや不十分	達成値 \geq 50%	2
不十分	達成値 $<$ 50%	1

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値 下段:目標値	値の説明	数値				
I	収蔵資料の整理・保存有効活用・調査研究	収蔵資料	1	博物館資料の受入等	3年度実績	16件	4	A	館の取り組み:県ゆかりの優れた作家の作品を収蔵すること
					館設定の目標	5件			
			2	資料の情報化・公開実績	3年度実績	7点	4		
					館設定3年度の目標	7点			
			3	博物館資料の館の取り組み	3年度実績	14点	4		
					館設定3年度の目標	14点			
		収蔵資料の有効活用	4	館外貸出(外部機関等展示等)	3年度実績	3件	4		
					要望のあった件数	3件			
			5	館内利用(学術調査等)	3年度実績	1件	4		
					館設定3年度の目標	1件			
			6	著作物資料への利用(出版物掲載等)	3年度実績	14件	4		
					館設定3年度の目標	14件			
調査研究	7	調査事業件数	件数	3年度実績	14件	4			
			館の計画	10件					
	8	共同調査事業件数	件数	3年度実績	3件	4			
				館設定3年度の目標	2件				
	9	研究成果の公開状況	論文研究報告	3年度実績	4件	4			
				前年度実績	3件				
大項目 I の総合評価(A~D)							A		
博物館コメント	館外への資料貸出業務は、前年度同様減少が著しかった。調査研究と館蔵資料の掲載許可等サービスは基礎的活動であることから、引き続き充実に努めたい。								

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値	下段:目標値	値の説明	数値				
II	入館者数と来館者の満足度	来館状況	1	美術館	入館者数	3年度実績	77,202人	4	A	目標の根拠:これまでの類似の展覧会での実績を参考にした。
						館設定3年度の目標	70,000人			
			2	漆黒のモダン 漆芸家 佐治賢使展	入館者数	3年度実績	6,459人	3		
						館設定3年度の目標	8,000人			
			3	移動美術館	入館者数	3年度実績	2,802人	4		
						館設定3年度の目標	800人			
		展示の充実	4	常設展示	更新回数	3年度実績	5回	4		
						館設定3年度の目標	5回			
			5	100% ORANGE オレンジジュース	実施回数	3年度実績	1回	4		
館設定3年度の目標	1回									
6	山本大貴-Dignity of Realism-	実施回数	3年度実績	1回	4					
館設定3年度の目標	1回									
総合的な満足度	7	美術館		3年度実績			A			
	8	漆黒のモダン 漆芸家 佐治賢使展	アンケート満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	3年度実績	88%	4				
	9	千葉県移動美術館		3年度実績	85%	4				
大項目IIの総合評価(A~D)							A			
博物館コメント	<p>当該年度は新型コロナウイルス感染症による臨時休館がなかったが、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置など、外出自粛が呼びかけられたことによる入場者数減の傾向にあった。</p> <p>企画展「漆黒のモダン 漆芸家 佐治賢使展」を予定通り開催した。</p> <p>「100% ORANGE オレンジジュース」、「山本大貴-Dignity of Realism-」は、若年層の来館者数が飛躍的に伸び、山本大貴展はNHK日曜美術館で取り上げられるなど、美術館の活性化に大きく貢献した。</p> <p>移動美術館は、茂原市で開催し、地元作家の作品紹介や、バルビゾン派の関係作家を中心に展示紹介し、「魅力的な作品だった」、「地元ですぐれた作品を鑑賞することができてよかった」など、好評を博した。</p>									
III	財源の確保	入場料	1	入場料収入	達成率	3年度実績	116%	4	A	収入額/当初予算額
						前年度実績	16%			
		外部資金	2	外部資金の獲得	件数	3年度実績	1件	4		
						前年度実績	0件			
大項目IIIの総合評価(A~D)							A			
博物館コメント	<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で入場者数が激減したが、令和3年度は徐々に回復傾向がみられた。</p> <p>また、当館の企画展が日本芸術文化振興基金の助成対象活動として採択され、外部資金を確保することができた。</p>									
IV	広報活動の積極的な展開	広報情報発信	1	HP等の情報発信	アップ数	3年度実績	169回	4	A	
						前年度実績	143回			
			2	HPでの利用状況	アクセス数	3年度実績	149,749件	4		
		前年度実績				140,758件				
		3	報道機関への情報発信	取材件数	3年度実績	25件	4			
					前年度実績	23件				
大項目IVの総合評価(A~D)							A			
博物館コメント	<p>ホームページやSNSなどでのスピーディかつ、こまめな情報発信に心掛けたこともあり、ホームページのアクセス数及び報道機関の取材件数が増えたと思われる。</p>									

分類	大項目	中項目	小 項 目				達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値	下段:目標値	値の説明	数値				
V	学校及び地域(関係団体)との連携・協働	学校との連携	1	学校利用受入	学校数	3年度実績	28校	2	A	目標値は令和元年度数値
					館設定3年度の目標	37校	目標値は令和元年度数値			
			2	入館者数	3年度実績	1,572人	4	個人入館の小中学生数		
					館設定3年度の目標	258人				
			3	生徒・児童	入館者数	3年度実績	6,902人	4		
		前年度実績				1,584人				
		4	博学連携(幼小中高への出前講座等)	学校数	3年度実績	5校	4			
					前年度実績	1校				
		5		利用者数	3年度実績	296人	4			
					前年度実績	10人				
	地域関係団体との連携	6	団体数	3年度実績	5団体	4	A			
				前年度実績	2団体					
		7	連携・共催(大学、NPO等)	利用回数	3年度実績	7回		4		
					前年度実績	2回				
		8		利用者数	3年度実績	14,123人		4		
					前年度実績	18人				
9	友の会活動	利用人数	3年度実績	192人	4					
			前年度実績	184人						
10	ボランティア活動	活動延人数	3年度実績	180人	4					
			前年度実績	67人						
大項目Vの総合評価(A~D)							A			
博物館コメント	学校連携では、7月1日からの団体受入再開により、団体数では令和元年度には及ばないものの、入館者数は大きく人数を伸ばした。また、学習キットの貸出も少しずつ件数がもとに戻りつつある。 地域連携では、空き展示室の活用を考えた対策により、大学連携による展示室利用が進んだこと、かんたんワークショップ実施などによりボランティアの活動の場が増えたことなどがあり、総合評価が高くなった。 来年度以降は、新型コロナウイルス感染症の終息を見据え、より多くの活動が期待できる。									

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考		
			上段:達成値	下段:目標値	値の説明	数値					
VI	教育・普及活動	来館状況	実技講座	1	陶芸①	参加者数	3年度実績	中止	A		
						前年度実績	中止				
				2	陶芸②	参加者数	3年度実績	18人			4
						前年度実績	中止				
				3	ホリデーアート・蜜蝋画	参加者数	3年度実績	中止			/
						前年度実績	中止				
			4	金工(鍛金)	参加者数	3年度実績	中止	/			
					前年度実績	中止					
			5	ホリデーアート・コラグラフ	参加者数	3年度実績	9人	4			
					前年度実績	中止					
			6	篆刻	参加者数	3年度実績	13人	4			
					前年度実績	中止					
			ワークショップ	7	こどもの日ワークショップ①	参加者数	3年度実績	13人	3		
						募集員数	15人				
				8	こどもの日ワークショップ②	参加者数	3年度実績	48人	2		
						館設定3年度の目標	80人				
				9	県民の日ワークショップ	参加者数	3年度実績	中止	/		
						募集員数	100人				
				10	夏休みワークショップ	参加者数	3年度実績	中止	/		
						募集員数	15人				
11	地域連携ワークショップ	参加者数		3年度実績	中止	/					
		募集員数		10人							
12	100人ワークショップ	参加者数		3年度実績	67人	2					
		募集員数		100人							
13	クリスマスワークショップ	参加者数		3年度実績	12人	3					
		募集員数		15人							
14	スプリングワークショップ	参加者数		3年度実績	9人	2					
		募集員数		15人							
15	大学連携ワークショップ	参加者数	3年度実績	13人	3						
		募集員数	15人								
16	かんたんワークショップ	参加者数	3年度実績	67人	4						
		館設定3年度の目標	54人								
17	企画展解説会	参加者数	3年度実績	44人	2						
		募集員数	62人								
18	展覧会関連	企画展ギャラリートーク	参加者数	3年度実績	27人	2					
			館設定3年度の目標	45人							
19	山本展アーティストトーク	参加者数	3年度実績	60人	4						
		募集員数	60人								
20	ミュージアムコンサート	参加者数	3年度実績	265人	4						
		館設定3年度の目標	214人								

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考
			上段:達成値	下段:目標値	値の説明	数値			
		総合的な満足度	1	陶芸①	満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	3年度実績	中止	A	
			2	陶芸②		3年度実績	100%		4
			3	ホリデーアート・蜜蝋画		3年度実績	中止		
			4	金工(鍛金)		3年度実績	中止		
			5	ホリデーアート・コラグラフ		3年度実績	100%		4
			6	篆刻		3年度実績	100%		4
		7	こどもの日ワークショップ①	満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	3年度実績	100%	4	A	
		8	こどもの日ワークショップ②		3年度実績	計測せず			
		9	県民の日ワークショップ		3年度実績	中止			
		10	夏休みワークショップ		3年度実績	中止			
		11	地域連携ワークショップ		3年度実績	中止			
		12	100人ワークショップ		3年度実績	97%	4		
		13	クリスマスワークショップ		3年度実績	100%	4		
		14	スプリングワークショップ		3年度実績	100%	4		
		15	大学連携ワークショップ		3年度実績	100%	4		
		16	かんたんワークショップ		3年度実績	計測せず			
		17	企画展解説会	満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	3年度実績	85%	4	A	
		18	展覧会関連		企画展ギャラリートーク	3年度実績	計測せず		
		19	山本展アーティストトーク		3年度実績	100%	4		
		20	ミュージアムコンサート	満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	3年度実績	100%	4	A	
		21	相談件数(来館、メール、電話等)	利用件数	3年度実績				計測せず
大項目Ⅵの総合評価(A~D)							A		
博物館コメント	コロナ禍も2年目となり新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じ、講座やイベントの実施に踏み切った年となった。緊急事態宣言下では、幼児の体験者が中心のワークショップの中止、高齢者の参加が多い実技講座は出控える方が多いため、半数ほどの実施にしかならなかったが、実施したものに関しては、作品を作るのが楽しかった、思ったように作品と作ることができた、もっと色々作ってみたい、また参加したいなどの意見が出され、満足度が高い結果になった。								

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考			
			上段:達成値	下段:目標値	値の説明				数値		
Ⅶ	人材育成と安全管理	実習研修	1	博物館実習	3年度実績	12人	4	A	8月中下旬に実施		
					前年度実績	10人					
			2	教員等の研修	3年度実績	9人	4			7月下旬・8月上旬に実施	
					前年度実績	中止					
			3	職場体験	3年度実績	中止	/		学校からの要望で実施し、時期に関しても学校から希望があった際に実施。昨年度は要望がなかった。		
					前年度実績	全キャンセル					
			4	インターンシップ	3年度実績	中止	/			文化財課より中止の知らせあり	
					前年度実績	中止					
		安全管理	5	研修会の開催	実施回数	3年度実績	0回	/	A		消防署に救命講習を依頼し実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により中止となった。
					館の計画	1回					
			6	防災訓練実施等	実施回数	3年度実績	2回	4		火災を想定した避難訓練は予定どおり実施した。	
					館の計画	2回					
大項目Ⅶの総合評価(A~D)						A					
博物館コメント	感染対策を講じた上で、昨年度実施できなかった教員研修を実施し、コロナ禍での対応に進歩がみられる年だった。しかし、職場体験の中止や救命講習の中止など、緊急事態宣言が夏に出された影響も出る結果となった。										
Ⅷ	観光資源としての活用	観光連携	1	県外来館団体入込	3年度実績	0団体	/	B			
					前年度実績	0団体					
			2	外国人来館入込	3年度実績	5人	3				
					前年度実績	6人					
大項目Ⅷの総合評価(A~D)						B					
博物館コメント	新型コロナウイルス感染症の影響で県をまたぐ移動を自粛する傾向があり、県外からの来館団体はなく、また外国人の来館者もほとんどいなかった。										
Ⅸ	ICTの活用	ICTの活用	1	デジタルミュージアム等のコンテンツの作成・整備	制作数	3年度実績	0件	/	B	県立全施設分 目標値は令和元年度数値	
					前年度実績	0件					
			2	デジタルミュージアム等のコンテンツの利用状況	視聴数	3年度実績	16,474件	4			
					館設定3年度の目標	11,455件					
			3	インターネットを活用したオンラインでの講座等の開催	開催回数	3年度実績	1件	1		県立博物館・美術館研修	
					前年度実績	4件					
			4	デジタル・デバイス解消のための対策	実施回数	3年度実績	1件	4			
					前年度実績	中止					
大項目Ⅸの総合評価(A~D)						B					
博物館コメント	コロナ禍2年目で、感染対策を講じた講座やイベントの開催にシフトしたため、ICT活用実績が昨年度に比べ、低くなった。新型コロナウイルス感染症に関わらず、今後の美術館運営にはICTの利活用は必須であるため、次年度に向け、ホームページの「おうちでアートを楽しまう」コーナーの充実や、zoomを活用し、自宅でワークショップの実施ができるような企画の実施に尽力したい。										

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値 下段:目標値	値の説明	数値				
X	その他	コロナウイルス感染症対策	1	館内消毒の実施等感染対策実施	3年度実績	3回	4	A	館内1日の消毒回数
					前年度実績	3回			
大項目Xの総合評価(A~D)							A		
博物館コメント	新型コロナウイルス感染症に関しては、万全を期した。								

総合評価(A~D) [各達成度の平均]		A
総合評価と次年度への対策	<p>新型コロナウイルス感染症の対応2年目となる当該年度は、withコロナの中でも学びの機会を止めないように考え、感染症対策を行いながら、様々な事業の実施を試みた1年だった。</p> <p>また、「県立博物館・美術館の今後の在り方」について第3次答申で出された「空き展示室の活用」に向けた事業(美術系大学との連携による展覧会やワークショップ、簡単なワークショップ体験、ミュージアムコンサートなど)も実施し、来館者事業が広がったこともあり、その成果が「V 学校及び地域(関係団体)との連携・協働」や「VI 教育・普及活動」にA評価という結果として現れたと考える。</p> <p>コロナ禍でも日常生活を取り戻そうという時勢により、例年実施している各種事業を新型コロナウイルス感染症の対策をプラスして実施したことと、新規事業として上記「空き展示室の活用」に向けた事業を行ったことにより、人力がそちらに割かれ、ICTの活用があまり進まなかったことは反省点として出される。</p> <p>次年度は、ICTの活用も考えつつ、第3次答申で出された課題解決に向け、館内事業、館外事業ともに事業の見直しと発展の年にしたい。</p>	